







25000km

35.95km

35.95km

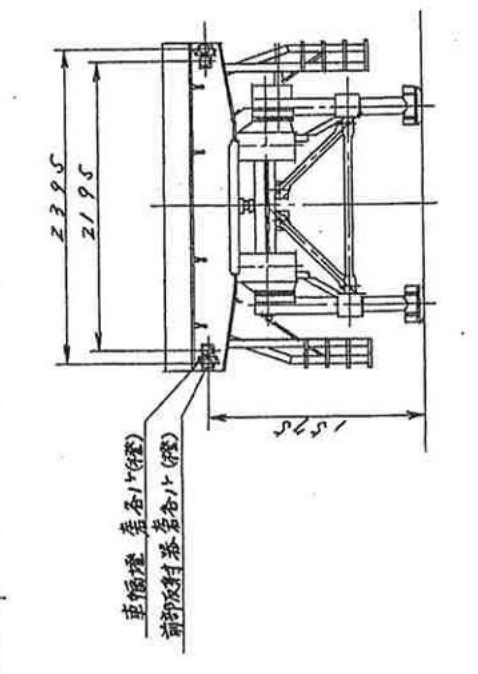
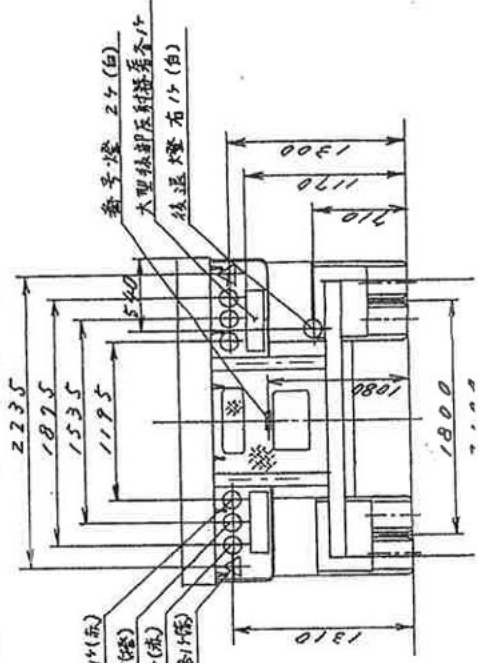
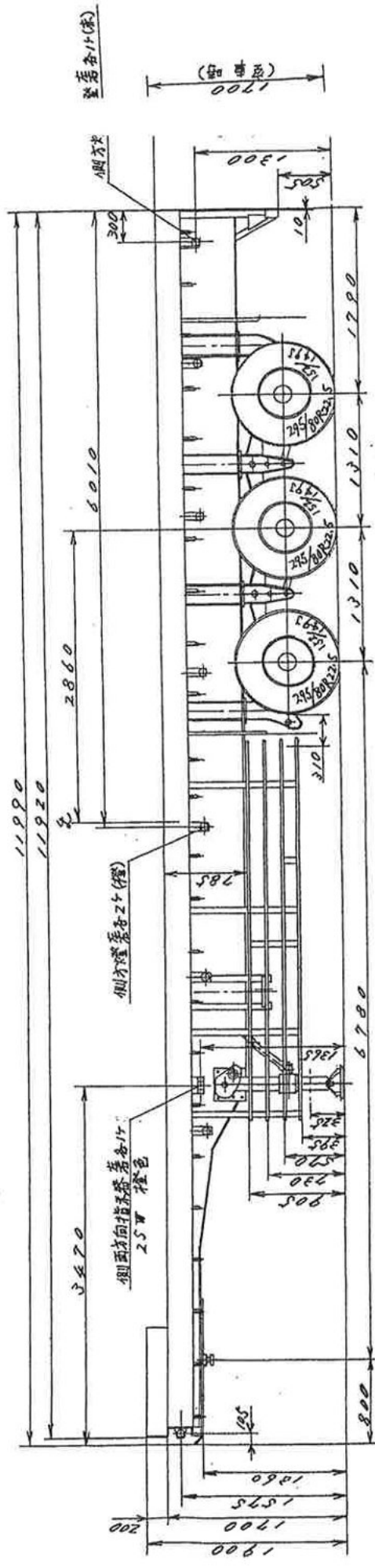
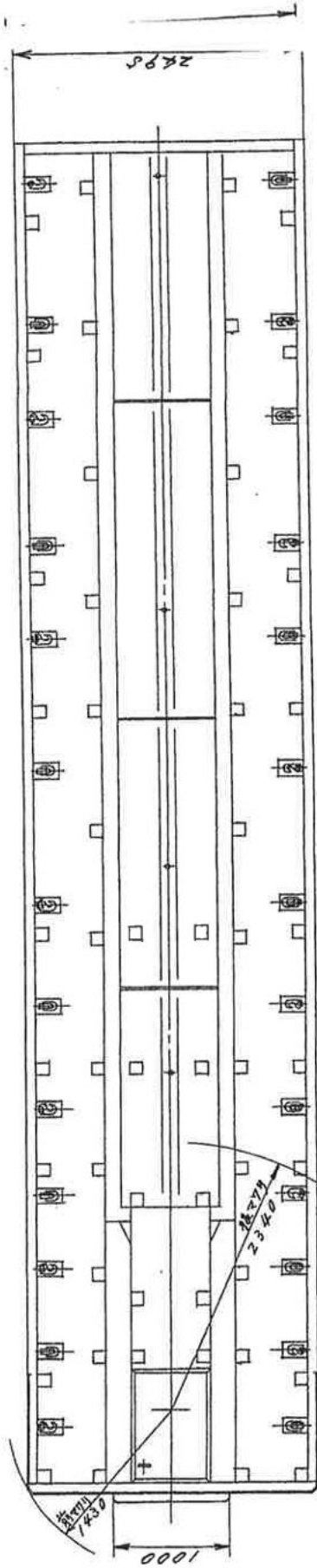


34-34

TAD 33739

トV-791 艦図 (YEH 5068)

尺度 1/40



TAD 33739

輸送機工業株式会社 様

試作  
(改造) 概要説明書

改造自動車等審査結果通知書

発示事項:

主要諸元比較表

(改造、試験、組立)

届出者の氏名又は名称		輸送機工業株式会社			種別用途 普通(被けん引)貨物		
項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準
車両重量 kg	10920	—	—	車名	—	—	—
乗車定員 人	—	—	—	型式	—	—	—
最大積重量 kg	49500	—	—	形状	—	—	—
車両総重量 kg	60420	—	≤26 ( )	原動機の型式	—	—	—
長さ m	11.190	11.990	(≤12)	総排気量 ℓ	—	—	—
幅 m	2.495	≤2.5	—	燃料の種類	—	—	—
高さ m	1.900	≤3.8	—	軸距 m	2.780+1.310+1.310=9.400	—	—
室内又は荷台の内寸法の長さ m	11.920	—	—	最小回転半径 m	—	※ 10.12	≤12
幅 m	2.495	—	—	オーバーハング	—	—	—
高さ m	0.200	—	—	ボデー後端まで m	—	—	≤④・⑤・⑥Lo (4.7000)
空車時 前	2480	—	—	荷台オフセット m	—	2.860	—
新重分佈 後中	2810	—	—	前	295/80R22.5 152/149J	—	—
後	2810	—	—	中	295/80R22.5 152/149J	—	—
後	2820	—	—	後	295/80R22.5 152/149J	—	—
積車時 前	19580	—	≤10 ℓ ( )	積車時 前	—	—	—
後中	13480	—	≤10 ℓ (184)	後中	—	—	—
後	13480	—	—	後	—	—	—
後部前輪荷重割合 %	—	—	≥18 / 20	荷重割合 %	—	—	—
前	—	—	—	最大安定	左	※ 48	—
後中	1.800	—	—	傾斜角度	右	※ 48	—
後	1.800	—	—				—
後	1.800	—	—				—
能力 駆動能力	出力※kg 35 km/h 10.75	—	—	車わく強度 $\sigma_s / \sigma = 5300 / 536.2 \times 2.5 = 3.96 > 1.6$			
空気圧	5.0kg/cm <sup>2</sup>	—	—	車軸強度 $\sigma = 5500 / 1107 \times 2.5 = 1.98 > \text{〃}$			
推 回板数	Nc/N = —	—	—	操縦装置 $\sigma = — / — > \text{〃}$			
操縦強度	$\sigma_s / \sigma = —$	—	—	懸架装置 $\sigma = 13500 / 4191 \times 2.0 = 1.61 > \text{〃}$			
				制動装置 $\sigma = 8000 / 1995 = 3.00 > \text{〃}$			
				連結装置 $\sigma = 9500 / 5899 = 1.61 > \text{〃}$			

目的	本トレーラーは分割不可能な重量物品の安全輸送を目的として製作されたものである。
車 体	本トレーラーの形状は3軸12輪平床式セミトレーラーである。荷台は35m/mの床板張りとし、平床で安全性を高めた構造である。
軸 距	重量配分の適正化及び走行安定性を考慮し6.780+1.310+1.310=9.400m に設定する。
輪 距	走行安定性を考慮し1.800mに設定する。
原 動 機	
動力伝達装置	
走行装置	車軸は全浮動方式で左右各々に2個の円錐コロ軸受によって支えられている。車軸自身はフレーム後部下面に取付けた懸架装置に固定されたタイヤから伝わる回転は円錐コロの入った軸受に伝わる構造である。
操縦装置	
制動装置	空気制動であって主制動と駐車制動よりなっている。主制動は内蔵板式による全車輪制動で非常時には自動的に制動できる構造である。駐車制動はマキシチャンパーに内蔵されたスプリングを使用し、空気を排出してスプリングの力により制動を得る装置である。
懸架装置	中梁の後部左右下面にブラケットにて支持されたリーフバネ装置を取付ける。このバネの中央部に車軸を取付けた構造である。
連結装置	グースネック下面にトラクタ第5輪と結合する連結用キングピン(2")を取付ける。キングピンはJIS規格(D6602)に準じて製作されたものである。
車 わ く	フレームは2本のI型断面の中梁を前後に貫通させ薄形鋼の側梁及び横梁を溶接にて鋼骨に結合した格子型フレームである。
そ の 他	1. 保安基準に基づいた電気装置を備える。 2. 第5輪後方に排気管を取付ける。 3. ABS装置付。 4. 突入防止装置は、屈伸式の識別表示 10Aを取付ける。 5. けん引取付用サビダイブ IC-CMS31GNT、三菱 IC-FY42A.R.サビダイブ 2614(第5輪 20L)

注1. 主要諸元比較表右肩( )内の改造、試験、組立は該当するものを○で囲むこと。製造番号

NO. 7188 P. 5

11.1

20